

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月2日

上場取引所 東 大

上場会社名 参天製薬株式会社

コード番号 4536 URL <http://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 黒川 明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 原田 哲

TEL 06-6321-7007

四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	86,300	10.9	25,709	123.6	25,812	109.1	16,239	110.7
21年3月期第3四半期	77,810		11,497		12,343		7,707	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	190.93	190.69
21年3月期第3四半期	90.67	90.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	161,507	135,814	83.9	1,593.23
21年3月期	151,012	125,368	82.9	1,472.32

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 135,554百万円 21年3月期 125,180百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		40.00		40.00	80.00
22年3月期		40.00			
22年3月期 (予想)				40.00	80.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,500	11.7	29,000	87.2	29,000	82.0	18,000	77.8	211.61

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	86,977,903株	21年3月期	86,916,203株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,896,322株	21年3月期	1,893,769株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	85,058,097株	21年3月期第3四半期	85,008,628株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、医薬品行政の動向など様々なりリスク要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期までの業績の状況(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

国内医療用眼科薬市場は、緑内障治療剤や角膜疾患治療剤および網膜疾患治療剤の伸長により、前年同期と比べ拡大しました。一方、海外医療用眼科薬市場では、米国は縮小傾向となりましたが、欧州、アジアとも総じて堅調に推移しました。国内一般用眼科薬市場は、爽快、アレルギーが前年同期と比べ増加しました。

このような状況下、当第3四半期までの業績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期増減率
売上高	77,810	86,300	10.9%
営業利益	11,497	25,709	123.6%
経常利益	12,343	25,812	109.1%
四半期純利益	7,707	16,239	110.7%

当第3四半期までの売上の状況(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

販売部門別の売上高は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	国内		海外		合計	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
医療用医薬品	63,997	2.2%	10,835	10.7%	74,833	3.3%
うち眼科薬	56,075	2.1%	10,723	10.6%	66,798	3.4%
うち抗リウマチ薬	7,710	2.8%	96	52.2%	7,807	3.2%
うちその他医薬品	211	5.1%	14	36.2%	226	8.0%
一般用医薬品	4,034	0.4%	16	180.1%	4,050	0.7%
医療機器	677	62.6%	-	-	677	62.6%
その他	411	11.0%	6,327	987.1%	6,739	607.2%
合計	69,121	2.5%	17,178	65.6%	86,300	10.9%

[医療用医薬品]

当第3四半期までの医療用医薬品の売上高は、前年同期と比べ3.3%増加し748億3千3百万円となりました。

(眼科薬)

<国内>

医療施設ごとの潜在ニーズとその変化を的確に捉えた医薬情報提供などの普及促進活動を引き続き実施した結果、国内医療用眼科薬の売上高は、前年同期と比べ2.1%増加し560億7千5百万円となりました。

緑内障・高眼圧症の治療ニーズに合致した新製品「タプロス点眼液」は順調に市場浸透した結果、売上高は、32億7千2百万円となりました。

角膜疾患治療剤領域では、ドライアイ(眼球乾燥症候群)などに伴う角結膜上皮障害の治療剤「ヒアレイン点眼液」が、患者さんのQOL(クオリティ・オブ・ライフ)を高める製品特性と、患者さんや医療現場におけるドライアイの疾患啓発活動などにより順調な伸びを示し、前年同期と比べ

3.5%増加し148億6千3百万円となりました。

合成抗菌点眼剤領域では、市場環境の変化などにより、「クラビット点眼液」、「タリビッド点眼液」両剤合わせた売上高は、前年同期と比べ6.6%減少し103億円となりました。

抗アレルギー点眼剤領域では、引き続き医薬情報提供活動に注力しましたが、スギ花粉の飛散が前年と比べ早期に終息したことや競合の影響もあり、「リボスチン点眼液」の売上高は、前年同期と比べ9.0%減少し19億9百万円となりました。

< 海外 >

海外における医療用眼科薬の売上高は、円換算ベースで前年同期と比べ10.6%増加し107億2千3百万円となりました。

欧州では、医薬情報提供などの普及促進活動に注力した結果、ドイツにおいて新製品の緑内障・高眼圧症治療薬「タフロタン」が順調に市場浸透しました。

アジアにおいても、普及促進活動の展開により当社製品の市場浸透が進みました。

(抗リウマチ薬)

抗リウマチ薬の売上高は、「リマチル錠」、「アザルフィジンE N錠」ならびに「メトレート錠2mg」は、関節リウマチ治療ガイドラインで強く推奨される製剤に位置付けられていることもあり、前年同期と比べ3.2%増加し78億7百万円となりました。

[一般用医薬品]

一般用医薬品の売上高は、目の疲れ・かすみ・爽快用の目薬の中で「サンテメディカル10」や「サンテ40i」および「サンテFX Vプラス」を中心に販売促進に注力した結果、前年同期と比べほぼ横ばいの40億5千万円となりました。

[医療機器]

医療機器の売上高は、高屈折率のアクリル素材を光学部に用いたフォールダブル眼内レンズ「エタニティー」の普及促進活動に注力した結果、6億7千7百万円となりました。

[その他]

ライセンス契約に基づく一時金収入などにより、67億3千9百万円となりました。

当第3四半期までの利益の状況（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

売上原価は、266億6千1百万円となりました。

販売費及び一般管理費については、339億2千9百万円となり、このうち研究開発費は、105億7千2百万円となりました。

この結果、営業利益は、257億9百万円となりました。

経常利益は、258億1千2百万円となり、四半期純利益は、162億3千9百万円となりました。

研究開発活動

参天製薬グループは、中長期的な成長の源泉として研究開発を重視しており、眼科薬を中心とした積極的な臨床開発活動を進めています。

緑内障・高眼圧症領域において、プロスタグランジン誘導体DE-085（一般名：タフルプロスト）は、平成20年12月より日本で販売中です。欧州では、平成20年6月のドイツに始まり、現在、6カ国で自社販売しています。アジアにおいては、平成21年6月に韓国で販売承認を取得し、中国では、第Ⅲ相試験を実施中です。また、平成21年4月には、メルク社とのライセンス契約締結により、西欧（ドイツを除く）、北米、南米、アフリカにおける販売権をメルク社に許諾し、平成21年

9月よりイギリスおよびスペインで販売開始しています。米国での開発についてもメルク社が継続しています。緑内障および高眼圧症を適応症とするROCK阻害剤のDE-104（一般名：未定）は、米国および日本での前期第 相試験の結果を踏まえ、より強い眼圧下降効果を目指して用量を増加した臨床試験（第 相 / 前期第 相試験）を米国にて追加実施中です。

角結膜疾患（ドライアイを含む）領域において、主にドライアイに伴う角結膜上皮障害治療剤のうち、DE-089（一般名：ジクアホソルナトリウム）は、平成20年5月に日本での製造販売承認を申請し、現在、承認審査期間中です。中国においても第 相試験を開始しました。また、DE-101（一般名：リボグリタゾン）は、米国および日本での前期第 相試験結果を踏まえ、日本で後期第 相試験を実施中です。また、遷延性角膜上皮欠損を適応症とするDE-105（一般名：未定）は、米国において第 相試験を終了し、日本で前期第 相試験を実施中です。

網膜領域において、糖尿病黄斑浮腫を適応症とするDE-102（一般名：未定）は、患者さんを対象とした忍容性および有効性確認試験（第 相 / 前期第 相試験）を日本で実施中です。平成20年5月にマキュサイト社から日本を含むアジアでの眼科疾患を対象とした開発および販売実施権を取得したDE-109（一般名：シロリムス）は、滲出型加齢黄斑変性と糖尿病黄斑浮腫の患者さんを対象とした忍容性および有効性確認試験（第 相 / 前期第 相試験）を日本で実施中です。

外眼部感染症を適応症とするDE-108（一般名：レボフロキサシン（1.5%））は、日本において第 相試験を終了し、申請準備中です。

また、アレルギー性結膜炎を適応症とする選択的グルココルチコイド受容体作動薬DE-110（一般名：未定）の第 相試験を米国で開始しました。

関節リウマチを適応症とするDE-098（一般名：未定）は、患者さんを対象とした忍容性および有効性確認試験（第 相 / 第 相試験）を欧州と日本で実施中です。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産は、前連結会計年度末と比べ104億9千5百万円増加し、1,615億7百万円となりました。現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加が主な要因です。

負債は、前連結会計年度末と比べ4千9百万円増加し、256億9千2百万円となりました。支払手形及び買掛金の減少や賞与引当金の取り崩しがありましたが、未払法人税等および退職給付引当金の増加が主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末と比べ104億4千6百万円増加し、1,358億1千4百万円となりました。利益剰余金の増加が主な要因です。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ1.0ポイント増加し、83.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

当第3四半期末までの営業活動によるキャッシュ・フローは、191億6千万円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益は249億3千2百万円であり、減価償却費が25億6千6百万円、法人税等の支払が82億1千9百万円あったことなどによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、49億3千6百万円の支出となりました。定期預金の払戻による収入が18億5千7百万円となりましたが、定期預金の預入による支出が15億9千4百万円、投資有価証券の取得による支出が10億5百万円あったことなどによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、63億9千2百万円の支出となりました。配当金の支払が66億8千万円あったことなどによります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ75億5千3百万円増加し、535億1千万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期までの業績は概ね予定通り推移しており、平成21年11月10日に公表した通期業績予想は修正していません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,855	37,117
受取手形及び売掛金	37,519	36,011
有価証券	9,598	11,396
商品及び製品	9,681	10,235
仕掛品	452	75
原材料及び貯蔵品	1,739	1,924
繰延税金資産	1,441	1,941
その他	1,871	2,352
貸倒引当金	1	1
流動資産合計	112,159	101,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,634	41,475
減価償却累計額及び減損損失累計額	26,728	25,611
建物及び構築物(純額)	14,905	15,864
機械装置及び運搬具	11,186	11,065
減価償却累計額及び減損損失累計額	9,107	8,633
機械装置及び運搬具(純額)	2,078	2,432
土地	8,533	8,678
リース資産	124	53
減価償却累計額及び減損損失累計額	17	13
リース資産(純額)	107	39
建設仮勘定	90	99
その他	10,800	10,585
減価償却累計額及び減損損失累計額	9,375	9,034
その他(純額)	1,425	1,550
有形固定資産合計	27,141	28,664
無形固定資産		
ソフトウェア	1,161	1,355
その他	60	193
無形固定資産合計	1,221	1,549
投資その他の資産		
投資有価証券	12,680	11,818
繰延税金資産	6,974	6,409
その他	1,329	1,516
投資その他の資産合計	20,984	19,744
固定資産合計	49,348	49,959
資産合計	161,507	151,012

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,702	6,018
短期借入金	765	545
1年内返済予定の長期借入金	-	110
未払金	7,105	7,414
未払法人税等	5,033	4,163
賞与引当金	1,406	2,590
その他	2,619	1,597
流動負債合計	21,632	22,439
固定負債		
退職給付引当金	2,856	2,393
役員退職慰労引当金	452	505
その他	751	304
固定負債合計	4,060	3,203
負債合計	25,692	25,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,524	6,457
資本剰余金	7,219	7,152
利益剰余金	130,570	121,133
自己株式	4,942	4,934
株主資本合計	139,371	129,808
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	259	246
為替換算調整勘定	4,076	4,381
評価・換算差額等合計	3,817	4,628
新株予約権	260	188
純資産合計	135,814	125,368
負債純資産合計	161,507	151,012

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	77,810	86,300
売上原価	27,084	26,661
売上総利益	50,725	59,639
販売費及び一般管理費	39,228	33,929
営業利益	11,497	25,709
営業外収益		
受取利息	113	32
受取配当金	409	370
為替差益	447	-
その他	508	374
営業外収益合計	1,477	777
営業外費用		
支払利息	51	37
為替差損	-	507
持分法による投資損失	477	106
その他	102	22
営業外費用合計	631	674
経常利益	12,343	25,812
特別利益		
投資有価証券売却益	-	74
国庫補助金	18	-
特別利益合計	18	74
特別損失		
固定資産処分損	38	14
減損損失	-	284
投資有価証券売却損	-	197
施設利用権評価損	15	-
持分法による投資損失	-	457
特別損失合計	54	954
税金等調整前四半期純利益	12,307	24,932
法人税、住民税及び事業税	5,794	9,056
法人税等調整額	1,194	364
法人税等合計	4,600	8,692
四半期純利益	7,707	16,239

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,307	24,932
減価償却費	3,249	2,566
減損損失	-	284
退職給付引当金の増減額 (は減少)	403	463
受取利息及び受取配当金	522	403
支払利息	51	37
持分法による投資損益 (は益)	477	564
売上債権の増減額 (は増加)	1,923	1,414
たな卸資産の増減額 (は増加)	722	390
仕入債務の増減額 (は減少)	369	1,338
その他	2,136	921
小計	15,089	27,004
利息及び配当金の受取額	519	401
利息の支払額	53	25
法人税等の支払額	8,313	8,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,242	19,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,684	1,594
定期預金の払戻による収入	2,775	1,857
有価証券の取得による支出	-	3,599
固定資産の取得による支出	1,538	905
投資有価証券の取得による支出	856	1,005
投資有価証券の売却による収入	-	309
貸付けによる支出	300	49
貸付金の回収による収入	311	49
その他	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,292	4,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	277
長期借入金の返済による支出	5,126	110
配当金の支払額	6,637	6,680
その他	54	121
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,708	6,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	737	277
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	8,496	7,553
現金及び現金同等物の期首残高	51,669	45,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,173	53,510

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「医薬品の製造・販売を中心とする医薬品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	69,803	7,465	540	77,810	-	77,810
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,787	1,389	2,158	5,336	(5,336)	-
計	71,591	8,855	2,699	83,146	(5,336)	77,810
営業利益 (又は営業損失())	13,266	329	293	13,302	(1,805)	11,497

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	76,477	7,252	2,570	86,300	-	86,300
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,278	1,458	1,605	5,343	(5,343)	-
計	78,756	8,710	4,176	91,643	(5,343)	86,300
営業利益	26,304	619	409	27,333	(1,624)	25,709

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。
 2 本邦以外の区分に属する主な国または地域
 (1) 欧州.....フィンランド、ドイツ、スウェーデン
 (2) その他の地域.....アメリカ、中国、韓国、台湾

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	6,695	607	3,065	2	10,371
連結売上高（百万円）	-	-	-	-	77,810
連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	8.6	0.8	3.9	0.0	13.3

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	6,414	6,355	4,405	3	17,178
連結売上高（百万円）	-	-	-	-	86,300
連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	7.4	7.4	5.1	0.0	19.9

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。
- 2 各区分に属する主な国または地域
- (1) 欧州.....フィンランド、ドイツ、ロシア、スウェーデン、ノルウェー
 - (2) 北米.....アメリカ
 - (3) アジア.....中国、韓国、ベトナム、台湾
- 3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
- 該当事項はありません。